

会計人の教養

5

2018 MAY



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院熊本校

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p style="padding-left: 20px;">② 「おねがいします！」</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 「ありがとうございました」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 「失礼します」</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">②「〇ページをお開き下さい」</p> <p style="padding-left: 20px;">③「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <p style="padding-left: 40px;">★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る</p> <p style="padding-left: 40px;">★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む</p> <p style="padding-left: 40px;">★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 全員が落ち着いたことを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤「今日の心がけを斉唱いたしましょう」</p> <p style="padding-left: 40px;">「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「以上で朝礼を終わります。」</p> <p style="padding-left: 40px;">「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

23 22 21 19 18 17 16 15 14 12 11 10 9 8 7 2 1

水 火 月 土 金 木 水 火 月 土 金 木 水 火 月 水 火

カルデラ
2019GW
ゼネラリストと
スベシヤリスト
義務教育
親鸞
エクセル
枕
CSR
シャウプ勧告
鍵山秀二郎
森友学園問題
異文化コミュニケーション
ICT教育
凝りは体のSOS
カーネル・サンダース
できる
LED電球

17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

僕がしたトーキングは
努力だけだ。

マラトーナ

学校掲示「今日の言葉」より

※「今日の言葉」とは、名言・格言を自由に書くコーナーです。

31 30 29 28 26 25 24

木 水 火 月 土 金 木

I
Q
レ
トル
ト
カ
レ
ー
電
子
書
籍
と
紙
書
籍
努
力
は
必
ず
報
わ
れ
る
非
課
税
所
得
お
も
て
な
し
イ
ン
ク
ル
ー
シ
ブ
教
育

24 23 22 21 20 19 18

2018 MAY

平成30年 皐月[さつき]

第4巻5号(通算35号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

みなさんは、阿蘇あそのカルデラを見に行つたことがありますか。

阿蘇カルデラは、東西十八キロメートル、南北二十五キロメートルもの大きさで、世界でも有数の規模を誇っています。

このカルデラは、二十七万年前から九万年前に起きた四回にわたる巨大噴火によって生まれたものであり、このときの火山灰は日本列島を覆うほどであったといわれています。

近年では、カルデラ内外の地域が世界ジオパークに認定されるなど、自然豊かな熊本を象徴する場所となつています。しかし、第一火口は、火山活動の活発化に伴い三年半もの間立ち入りが規制されてきました。先月、ようやく阿蘇中岳あそなかだけの第一火口周辺の立ち入り規制が解除されました。

新聞の中で、「阿蘇山ロープウエーのシャトルバスや乗用車が火口広場と山上広場を結ぶ登山道を行き交い、火口縁かこうえんは見物客で賑わった」とありました。みなさんも、火口見物をするこゝで、阿蘇の雄大な自然ゆうだいなを堪能たんのうしてみてはいかがでしょう。

今日の心がけ◆阿蘇中岳に行きましょう。

GWには、幼い頃に家族で出かけたりした方も多いのではないのでしょうか。

ところで「来年のGWは九連休になるかもしれない」という噂が広がっています。これは、天皇陛下の退位が四月三十日に決定したためです。もし、皇太子様が五月一日に即位されるのであれば、五月一日も国民の祝日になります。

ここで疑問なのが、二日は平日だということですが。もし、一日が祝日になるのであれば、三日が憲法記念日のため、二日は祝日法により休日に代わってしまう可能性があるのです。

この休みを喜ぶ人、そうでない人様々いると思います。特に、サービス業の人からしてみると、忙しさは大変なものだと感じます。地獄の九日間と呼ばれるかもしれません。

私たちにとってもGWは、「がんばるウィーク」です。日商簿記検定も約一ヶ月後となりました。この連休を有意義に過ごし、実りある「がんばるウィーク」にしましょう。

今日の心がけ◆GWもがんばりましょう。

ゼネラリストとスペシャリスト

みなさんは、「ゼネラリスト」という言葉があるのをご存知でしょうか。ゼネラリストとは、ビジネスにおいて分野を限定せず、幅広い知識や技術を持っている人のことです。

ゼネラリストは、分野を限定しない知識を持っているため、広範囲での活躍が見込め、企業内では他部署との連携を担う人となることが多いのも特徴です。また、一つの企業にこだわらず他の企業に転職しても活躍できる存在です。

一方、その言葉と対義的な言葉に「スペシャリスト」があります。スペシャリストは、ある特定の部分に絞^{しほ}り業務を行うため、特定の分野に関しての知識や経験の成長が早い^{ため}、作業効率の向上などに多大な貢献をしてくれる存在です。

ゼネラリストのように幅広い知識や技術を持ち、広い視野を持つことも大切です。しかし、一つの分野を徹底的に極めるスペシャリストを目指してみるのもよいと思います。

そして、「これだけは誰にも負けない」といえるくらいまで、何か一つのものを探求することで、自信を持つことができるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆一つのものを極めましょう。

日本国憲法第二十六条第二項の中に、「すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする」と規定されています。

日本では、小中学校の九年間が義務教育となっています。では、この義務教育の期間、いったい何を目的として義務と定めているのか、考えたことはあるでしょうか。

現在の教育基本法の第五条第二項では、義務教育の内容に当たる「普通教育」の目的が、①社会で自立的に生きる基礎を培うこと。②国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことと明確に記述されています。

本来、私たちが持っているのは、教育を受ける権利であって、学校へ行かねばならない義務ではありません。しかし、私は、義務教育と聞くと何となく嫌なイメージを感じてしまいます。

それは、義務教育が問題ではなく、学校の在り方や受験競争、学歴社会によって勉強がつまらなくなってしまう、意欲的に学ぼうとする学生が減ってしまうことが原因ではないかと考えています。義務教育の学びを、社会で活かすことができるような教育体制を築く必要があるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆意欲的に学びましょう。

親鸞は、鎌倉時代前期から中期にかけての日本の僧で、浄土真宗の宗祖とされています。

親鸞の時代、仏教といえば、天台宗や真言宗など、山にこもって修行し、欲・怒り・愚痴の煩惱と闘って、本当の幸せになろうとする教えばかりでした。僧侶は、欲のままに行動する、肉を食べ、結婚することは、固く禁じられていました。

ところが、親鸞は公然と肉食妻帯を行いました。それは、山にこもって修行している人も、生きるために仕事をしている人も、老若男女一切の区別なく、すべての人が、本当の幸せになれる道を教えるためでした。

しかし、親鸞が公然と肉食妻帯をしたことで、多くの人たちから聞くに堪えない悪口を浴びせられました。親鸞は非難されることを分かっていたようですが、それを覚悟の上で公然としました。

それは、阿弥陀仏の本願を伝えることを使命としていたからです。使命を果たすために、あえて険しい道を選びました。すべての人が使命を持って生まれてきます。みなさんも、自分の使命を探してみてはいかがですか。

今日の心がけ◆使命を持って生きましよう。

エクセルとは、マイクロソフト社が一九八〇年代から開発・販売している表計算ソフトです。販売開始からまだ歴史は浅いですが、今や企業など仕事をする上で欠かせないものです。最近では、企業が新入社員に求めるスキルで常に上位に挙げられます。

エクセルは、関数を組み合わせることによる自動計算やグラフ機能などが特徴のソフトウェアです。また、書類作成やデータ分析など、使用者の用途に合わせて、たくさんの活用方法があるため、仕事をする上でとても便利なツールとなっています。

また、マイクロソフト社は、二〇一七年にエクセルでAIが使える新ツールなどを発表し、さらにその機能は多様化しています。

これからの時代、さらに急速に技術の進化が進み、コンピュータへの対応が求められると思います。コンピュータの学びは、エクセルに限らず、ワード・パワーポイント・アクセス・ホームページなどを使いこなせる技術が必要になってくると考えます。そのためにも、今後ますます変化に対応する能力を身につけることが大切になっていくと感じます。

今日の心がけ◆常に学ぶ姿勢を心がけましょう。

人は寝るときに布団や毛布、そして枕を用意します。

枕には、寝ているときの姿勢を保つ役割があり、これによって、身体がリラックスをして
いる状態になります。

しかし、身体をリラックスさせるはずの枕を考えずに選んでしまうと、かえって疲れる
原因になってしまいます。また、自分に合わない枕を使い続ければ、肩こりや首こり、眼
精疲労や頭痛の原因となるので、侮あなどつてはいけません。

もし、「きちんと睡眠時間を確保しているのに、疲れが取れた気がしないなあ。」と思っ
たら、もしかしたら、自分に合わない枕を使い続けているからかもしれません。

仕事に家事、人間関係など毎日忙しいと疲れが溜まってしまいます。もし疲れが取れ
ないと感じているならば、枕を変えてみるのもいいかもしれませんね。

今日の心がけ◆自分に合った枕を使いましょう。

CSR（企業の社会的責任）とは、企業が倫理的観点から事業活動を通して、自主的に社会に貢献する責任のことをいいます。

CSRは、一九七〇年代のアメリカ企業において、企業が社会的責任を認識し、経営によつてその責任を果たすための仕組みを作り上げるべきという考えから広まり始め、日本でも一九九〇年代前半から企業の社会貢献活動が盛んに行われるようになりました。

例えば、富士フイルムホールディングスでは、写真フイルムの製造時に「大量の清浄な水と空気」が不可欠であるため、環境保全を目的にCSRに取り組みました。

他にも、「文化支援」「人権保護」「女性の地位向上」など、各企業で様々な活動が行われています。

CSR活動は、直接的な利益につながるわけではありません。しかし、長く生き残る企業になるためには、CSR活動を積極的に取り組むことがとても重要なことだと思います。

今日の心がけ◆CSR活動について考えましょう。

昭和二十五年に、日本の租税制度の根本的改革を目的とした「シャウプ使節団日本税制報告書」が提出されました。

この報告書は、「シャウプ勧告」として浸透し、現代日本の租税制度の骨子になったといわれています。

「シャウプ勧告」は、日本における長期的・安定的な税制と税務行政の確立を図るため、GHQの要請により結成された「シャウプ使節団」が、世界で最も優れた税制を日本に構築するという理想を掲げ作成されたものです。

主な内容は、間接税の整理、所得税の改正、青色申告制度の導入などであり、そのほとんどが現在にも活かされています。

私たちは、会計のプロフェッショナルを目指すものとして、簿記会計や税務に関する学びだけでなく、その成り立ちの歴史を学ぶことも大切なことではないでしょうか。

今日の心がけ◆租税制度の歴史を学びましょう。

みなさんは、掃除についてどう思いますか。ひよつとするといいいやながら掃除をしている人もいるのではないのでしょうか。もし、掃除が苦手な人がいるならば、鍵山秀三郎という人物について学んでみるとよいでしょう。

鍵山氏は、東証一部上場企業であるイエローハットの創業者であり、日本を美しくする会の発足者として知られています。その鍵山氏と掃除には、一体どのような関係があるのでしょうか。

鍵山氏は一九六二年に、イエローハットの前身である株式会社ローヤルを創業しました。創業時は苦勞が絶えず、社員の心は荒んでいたと当時を振り返っています。しかし、そのような社員の心を和ませるため、一人で素手によるトイレ掃除を始めました。

それからも社内掃除、洗車、さらには道路や公園のゴミ拾いまで徹底して掃除に取り組みました。そうして一人また一人と社員が自発的に掃除に参加するようになり、お客様に心からのサービスができるようになったといえます。

鍵山氏の名言に「ほんじてつてい凡事徹底」とあります。私たちも、毎日の掃除を徹底して行うことで、本当の意味での信頼を得ることができると思います。

今日の心がけ◆**凡事徹底**を心がけましょう。

みなさんは、国会で問題となっている森友学園国有地売却の件についてどのように感じていますか。

この問題の発端は、昨年の二〇一七年二月に遡ります。当時報道されたのが、森友学園が学校開校のために国有地を取得した際、八億円も値引きされていたことと、特別措置によつて学校開校の認可が下りていたことです。

これに関して、森友学園の名誉校長を安倍昭恵首相夫人が務めていたため、「政治家からの圧力・口利き」によつて違法な値引きや手続きが行われたとの疑惑が取り沙汰されました。この問題を国家で野党が追及した際、国有地の売却に関して担当していた当時の財務省理財局長佐川氏が、「国有地の売却に関して森友学園と価格交渉は行っていない。」と答弁していました。

しかし、今年になり財務省が内部調査をしたところ、省内で書き換えられた文章が十種類も見つかりました。これは佐川氏が答弁した後に、その答弁に合わせるように文書が改ざんされたこととなります。

三月二十七日に国家で佐川氏の証人喚問が実施されました。しかし、そこでも野党の望む回答は得られず、問題発覚から一年以上が経過しますが未だに解決していません。みなさんも、今後の動向に注目しましょう。

今日の心がけ◆森友学園問題について調べましょう。

異文化コミュニケーションとは、「文化的背景を異にする存在同士のコミュニケーション」という意味です。つまり、自分とは異なる相手と意思疎通を図ることです。当然のことながら、文化が違えば行動や習慣が違います。

例えば、挨拶です。日本ではお辞儀をする習慣があるため、挨拶をするときには相手と一定の距離を取ります。一方、フランスやメキシコでは、頬と頬を合わせて挨拶をする習慣があるため、お互いの距離はとても近くなります。また、日本で美德とされる「遠慮」は、海外では興味がないと捉えられてしまうことがあります。

このように、異文化を知ること、他国の文化を理解することだけでなく、自国の文化の特性を認識することができます。

お互いの文化を尊重し、理解しようとすることは、異文化コミュニケーションにおいてとても大切なことです。

このことは、私たち一人ひとりにも当てはまります。なぜなら、自分とは違う考え方や価値観を、どのように捉え、受け入れることができるのかを考えるきっかけになるからです。

今日の心がけ◆異文化について考えましょう。

現在、世界中でインターネットが普及し、いつでもどこでも欲しい情報が簡単に手に入るようになりました。最近では、AIの話題がテレビや新聞でも報道されています。

そのような中、将来を担う子どもたちに、よりICT機器を使いこなせるようになるために、ICT機器を活用した授業が行われています。例えば、子どもたちがICT機器を使うことで、分からないことをインターネットなどですぐに調べることができます。

また、ビジネスにおいてもICT機器は必須のため、早い段階で社会に出て必要なICT機器を使いこなすことができるようになります。

一方で、教える先生にとっても、ICT機器を組み合わせることで、効果的な授業が期待できます。例えば、これまで教科書で見ていたものが、プロジェクターや電子黒板などを使うことによって、動画や写真を大画面で見ることができます。

このように、ICT機器を用いることによって、生徒の興味や関心がわき、意欲的に学習に取り組むことができるのです。みなさんも積極的にICT機器を活用しましょう。

今日の心がけ◆ICT機器を活用しましょう。

近年、コンピュータなどの導入に伴い、眼精疲労^{がんせいひろう}、肩こりや腰痛などの過労性疾患^{かろうせいしつかん}に悩む人が急増しています。なぜ、このようなことが起こるのでしょうか。

それは、筋肉が固くなることによつて血管を圧迫し、血流が滞^{とま}ること、酸素や栄養が十分に回らなくなり老廃物が溜まるためです。そのことが神経を刺激し、痛みになるのです。また、血流が滞ることにより、体の別の箇所にも影響を及ぼしていくのです。

肩こりや腰痛などの凝りの原因は、目にもあるともいわれています。例えば、パソコンの画面を見続けるとまばたきの回数が減り、目の表面が乾いて疲労を起こします。そのうえ、画面に目を近づけすぎると、体が猫背になってしまいます。それにより、腰への負担が大きくなり、腰痛を引き起こしてしまうのです。

このように、体の一部を酷使^{こくし}することによつて体のバランスが崩れ、体のあらゆる箇所が凝つてしまいます。

さらに、体の凝りは睡眠不足や緊張によるストレスなども原因と考えられています。みなさんも普段から姿勢を正し、凝りを感じたら十分な休息をとりましょう。

今日の心がけ◆姿勢を正しましょう。

みなさんは、カーネル・サンダースをご存知でしょうか。

カーネル・サンダースは、アメリカ合衆国の実業家で、ケンタッキー・フライド・チキンの創業者です。

ケンタッキー・フライド・チキンは、カーネル・サンダースが経営していたガソリンスタンドの中にある、六席のレストラン・コーナー「サンダース・カフェ」を作ったことが始まりでした。

店は大繁盛しましたが、町外れを通過する州間高速道路が開通すると、車と人の流れは変わり、客が入らなくなり、店を手放すことになりました。しかし、「フライド・チキンのレシピを教える代わりに、売れたチキン一つにつき五セント受け取る。」というフランチャイズビジネスを始めたところ、ビジネスは成功し、今や世界中にたくさんの店舗を持つ企業になりました。カーネル・サンダースの柔軟な発想が、ビジネス成功へとつながったのです。

私たちも、誰も思いつかないような柔軟な発想を身につけたいものですね。

今日の心がけ◆柔軟な発想を身につけましょう。

「わが辞書に不可能という文字はない。」これは、ナポレオン一世の言葉です。もしかするところの言葉は、「自分はできる」という自己暗示の言葉だったのかもしれない。

最近の研究では、心と脳の関係性が明らかになっています。筑波大学名誉教授の村上^{むらかみ}和雄^{かずお}氏は、その関係性を次のように解き明かしています。

「脳は私たちができると思っていることしかできない。逆にいえば、できないと考えていることはできないのだ。」

村上氏は、できるという指示を脳に伝えることが重要であり、固定^{こてい}観念^{かんねん}を捨てること、素直になることが大切だと説いています。

私たちは、複式簿記を学んでいます。二年間という短い期間で、基礎・基本の土台を作り、本物の複式簿記という柱を立てなければなりません。複式簿記の学びを通して、卒業後には、「仕事ができる」という自信に繋がり、企業が求める「人財」になれるのではないでしょう。そのためにも、日々の学びを深めていきたいものです。

今日の心がけ◆自分の可能性を信じましょう。

みなさんの幼少期と比べて、電気の光が明るくなったと思いませんか。そこには電球の進化が関係しています。

電球の始まりは、トーマス・エジソンが発明した白熱電球だと思われていますが、実際には、ジョセフ・スワンというイングランドの物理学者が発明しました。次に、ニコラ・テスラが蛍光灯を発明し照明がとても明るくなりました。

さらに、一九六二年にニック・ホロニアックが、蛍光灯よりも明るい赤色のLEDを発明し、一九七二年には、ジョージ・クラフォードによって黄緑色のLEDが発明されました。一九九三年には、中村修二さんら三人が発明した青色発光ダイオードによって、テレビやパソコン、スマートフォンなどの画面の表示や、家庭の照明など様々な電化製品に使われるようになった。

LEDは明るいだけでなく、電球が長持ちし、消費電力も少ないため、電気代が安く済みます。また、衝撃などにも強く、壊れにくいのも特徴です。

しかし、LEDが発するブルーライトが、ヒトの目や脳に刺激を与え、目の疲れや肩こり、睡眠障害などを引き起こすといわれています。今後の研究により、さらによりよいものに進化することを期待しましょう。

今日の心がけ◆研究者に感謝しましょう。

インクルーシブ
「inclusive」とは「包括的な」「包み込む」という意味で、インクルーシブ教育は「包容する教育」と訳されています。

インクルーシブ教育とは、子どもたち一人ひとりが多様であることを前提に、障害の有無にかかわらず、誰もが望めば自分に合った配慮を受けながら、地域の通常学級で学ぶことを目指す教育理念と実践のプロセスをいいます。

インクルーシブ教育という言葉が広まり始めたのは、一九九四年にUNESCO^{ユネスコ}によって開かれた国際会議がきっかけです。障害のある人も積極的に社会で活躍できる環境づくりの一環として、インクルーシブ教育が推し進められています。

しかし文部科学省が行っている特別支援教育と国際的に認識されているインクルーシブ教育は少し異なります。文部科学省は能力を最大限に発揮させることを第一命題としているのに対し、インクルーシブ教育は同じ場でともに学ぶことを第一命題としているからです。

障害者であろうと健常者であろうと学ぶ環境が大切なのは変わりありません。積極的に学びたい人が学べる環境が整うことが大切なのではないでしょうか。

今日の心がけ◆学べる環境に感謝しましょう。

東京オリンピックも二年後に差し迫り、これからますます盛り上がっていくと感じています。日本の大きな魅力であるおもてなしとは、一体何なのでしょう。

例えば、料理店でおしぼりが出されることはサービスと呼ばれます。しかし、おしぼりを渡す際に「お仕事お疲れ様です。」と言葉がけをしたりすることはおもてなしと呼ばれません。

つまり、お客様にとって想定内のことがサービスで、お客様の予想を超えるような気遣いこそがおもてなしなのです。

このように、おもてなしはマニュアルで決められていることだけではなく、相手を気遣い心から喜んでもらえることが自然とできるようになることです。そのために大切なことは、行動に移すことができるかどうかだと思います。

私は、自分がされて嬉しいことを相手にも行い、たくさんのおもてなしができる人財として世の中に貢献していきたいと考えます。

今日の心がけ◆おもてなしができる人財になりましょう。

非課税所得とは、税務署や市町村に収入があることを報告する必要がない所得をいいます。

例えば、ネットオークションやフリマアプリで取り扱われる物品の多くは、「生活用動産」であると解釈され、一部を除き、非課税とされています。

また、購入代金が税金の性格を有しているという理由から、宝くじの当選金も税金は課されていません。さらに、所得税は個人の「儲け」に課される税金のため、サラリーマンの通勤手当のように、交通費に使用されるものも課税されません。

日本国憲法で国民の三大義務として定められているように、私たちには、税金を納める義務があり、国としては、慎重に徴収しなければなりません。そのため、前述した具体例はほんの一部に過ぎず、他にも様々な非課税所得が細かく規定されています。

しかし、これらとは反対に、クイズ番組の賞金など意外な収入について課税されることがあるため、みなさんもぜひ調べてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆税金に関心を持ちましょう。

「一生懸命真面目にやっていたら、誰かがちゃんと見て評価してくれるよ。」みなさんも、一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

しかし、周りの人が必ずしも見てくれているとは限りません。そして、どれだけ真摯しんしに取り組んだとしても、評価してもらえないこともあります。また、努力をしてもうまくいかないことだってあります。さらに、努力しても報われないからといって諦めてしまえば、今までの努力が無駄だと思い、頑張る自分を否定することにもなってしまう。

では、それまでやってきた努力は本当に無駄なことなのでしょうか。そんなことはないはずです。今までやってきた努力の中には、自分で積み上げてきた経験があります。

仮に失敗したとしても、やるだけやっていれば、次につながっていきます。やる前から諦めては何もできません。チャレンジしなければ前に進むことができません。

私は、諦めずにやり続ければ報われない努力はないと思っています。そして、結果の有無に関わらず、努力している姿を評価してくれる人は必ずいると信じています。

今日の心がけ◆諦めずに努力しましょう。

みなさんは、電子書籍と紙書籍のどちらを利用していますか。

電子書籍の利点として、気軽に持ち運べ、一つにまとめることができ、読みたいときに読めるということがあげられます。

また、デジタル教科書といって、教育などでも幅広く普及しています。他にも、紙に印刷して書店で売るにはコストがかかりますが、電子書籍では、出版社も個人でアマゾンで本を出版している人も、自由に価格を設定できるため、割安になります。

一方で、紙の書籍は電子書籍に比べると、本を読んでいる感覚があり、本を集める満足感や達成感も得ることができます。そして、本に大事なことを書き込むこともでき、紙の本の方が記憶に残りやすいという研究結果も出ており、紙の書籍にしかできないこともたくさんあります。

以上のことから電子書籍と紙の書籍のどちらかを否定するのではなく、両方の長所を生かして利用していくのもいいかもしれませんね。

今日の心がけ◆長所を見つけてみましょう。

レトルトカレーは、低価格で美味しく、調理するのも簡単です。

「レトルト食品の利用に関するアンケート調査」では、レトルト食品の販売量の3割を占めるなど、老若男女問わず愛されています。

当時のアメリカ軍の軍用携帯食であったレトルトカレーは、缶詰のために重量や空缶処理に問題がありました。それを改善するため、パッケージングによるレトルト食品が開発されました。日本では、一九六八年に大塚食品が、市販レトルト食品「ボンカレー」を阪神地区で限定販売しました。

現在では、ホテルやレストランの調理技法を用いたブランド商品やメーカーオリジナル商品、地方によって味の異なるご当地カレーなど、多種類のレトルトカレーが登場しています。

このように、レトルトカレーは、時代の流れに合わせて形を変えてきました。私たちも會計を学んでいく上で、時代に合わせた會計処理を身につけることによって、企業を支えていきたいものですね。

今日の心がけ◆食品のルーツに興味を持ちましょう。

みなさんは、IQと聞いて何を連想しますか。IQとは、知能の基準を数字で表したものです。

知能指数は、一人ひとりに合った支援や学習指導の方向性を検討するヒントとして使われます。

知能検査で測定できるのは、主に言語的機能や論理数学的機能という知能の一部分であり、一概に頭の良し悪しを図ることはできません。知能指数が低くとも、知能指数で測定できる能力の範囲外で高い能力を発揮される人もいます。したがって、知能指数の値を参考材料の一部として、一人ひとりの得意分野・不得意分野を把握することが大切なのです。

また、知能指数の値は、療育手帳を取得する際や、特別支援学校での教育を受ける際の判断材料の一つとしても使われます。疾患や障害の有無の識別、知能機能の遅れがあるかどうかを知ること、家族や社会の支援により社会的自立に向けた力をつけていくことが可能となるのです。

適切な教育・支援を受けるための参考資料の一つとして、知能検査を受けてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆自分の能力にあった教育を受けましょう。